

中津高等学校生が中津川宿「六斎市」で研究商品を販売！

～「高大連携講座」で学んだ地域の特産物を活かした商品を実践販売～

中津高等学校では市内の中京学院大学と連携して、平成16年度から「中国語講座」「地域活性化講座」など、毎年様々な取組を行っています。

平成30年度は「経営学の理論と実践」講座として5月より調査と研究に取り組み、12月2日（日）には中津川宿で毎月第一日曜日に開催される「六斎市」で、春から研究してきた地元産品を使った高校生のアイデア商品を販売しました。

地元の栗を使ったパウンドケーキや「栗旨豚」と「あじめこしょう」の豚汁、「西方いも」のチュロスや中津川産豆腐の「ポテトウフ」など、ユニークで地元の素材を活かした商品はどれも美味しく、すぐに売り切れたものもありました。今後もこの講座で学んだ事を今後の進路等にも参考にしたいと思います。



生徒の手書きによる看板や商品説明も活用



多くの方に購入と試食をしていただきました。



お肉たっぷりの「栗旨豚」の豚汁と中津川産豆腐「ポテトウフ」(下)、西方いものチュロス(上)



手書きのイラストで商品を説明



恵那農業高校の味噌も活用